

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース											
アドバンスレッスン2											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	満園庄太郎・堀越昭宏・麻生祥一郎・加茂文吉			実務経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
Gt、Ba、Dr、Keyの「テクニック」面に関して、リサーチと経験に基づく上達のための課題曲に挑戦しながら、各楽曲における演奏法・音色作り・フレージングについて学びます。											
到達目標											
歴史的意義がある楽曲について、理解し、現代的な楽曲の中に自身の目線で自分ごととして落とし込み、自身のレパートリーとできることを目標とする。											
授業方法											
楽曲毎に、講師によるデモ演奏を交え、動画や本、音源では体感が困難である立体的な音像を確認のうえ、授業を進めていく。また、適時指定教科書からの抜粋フレーズも学び、体系的に学習する。課題曲の学習順番は、演奏法習得状況に応じて弾力的に変更する。											
成績評価方法											
1 4回目または1 5回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
ドラム：Progressive Steps to Syncopation for the Modern Drummerギター：エレキギターバックングのアイデア”即戦力”135ベース： はじめてのジャズベースキーボード： キーボードバックングのアイデア”即戦力”138											
回数	授業計画										
第1回	授業の概要説明。課題曲「Scatterbrain」におけるフレージング。										
第2回	課題曲「Scatterbrain」におけるフレージング。										
第3回	課題曲「Scatterbrain」におけるフレージング。										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース	
アドバンスレッスン2	
第4回	課題曲「Truth」におけるフレージング。
第5回	課題曲「Truth」におけるフレージング。
第6回	課題曲「Truth」におけるフレージング。
第7回	課題曲「Cissy Strut」におけるフレージング。
第8回	課題曲「Cissy Strut」におけるフレージング。
第9回	課題曲「Cissy Strut」におけるフレージング。
第10回	課題曲「Some Skunk Funk」におけるフレージング。
第11回	課題曲「Some Skunk Funk」におけるフレージング。
第12回	課題曲「Some Skunk Funk」におけるフレージング。
第13回	後期課題曲のまとめ
第14回	講師と合奏形式による後期試験課題を演奏。
第15回	講師と合奏形式による後期試験課題を演奏。

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース											
アドバンスレッスン2											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	河原レオ・郁川舞			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
作編曲のテクニックを学び、幅広いジャンルに素早く対応できるスキルを身につける。											
到達目標											
好きな音楽のルーツや文化的な成り立ちを学習することによって、既存概念にとらわれないオリジナリティーを作品に織り込めるような思考を体得する。同時に、ポップスフィールドの中でコードネームに対して音楽をより良くする適切なバックギンが出来るインプロヴィゼーション力を体得する。自分本位な演奏だけではなく、いかに周りの音を聴きながら演奏するか、そして良い演奏を行うためのコミュニケーション能力も体得する。											
授業方法											
即興力を身につけるために、各回のテーマに沿った課題曲を時間をかけ演奏を実施する。必要に応じた講師からのフィードバックにより今後への課題を各自考察する。ヴォーカリストコースとのコラボレーションによる共創型課題も適時実施する。各楽器奏法の体得に加えて、サウンドの加工やエフェクトの使用法を解説する。実際にクライアントに求められるような内容に沿ったサウンド作品の制作をPBLベースで実践する。											
成績評価方法											
提出物課題60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適宜、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	課題曲1 楽曲制作の方法と解説・制作実習										
第2回	課題曲1 楽曲制作の方法と解説・制作実習										
第3回	課題曲1 楽曲制作の方法と解説・制作実習										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース	
アドバンスレッスン2	
第4回	課題曲1 楽曲制作の方法と解説・制作実習
第5回	課題曲1 楽曲制作の方法と解説・制作実習
第6回	課題曲1 楽曲制作の方法と解説・制作実習
第7回	課題曲1 楽曲制作の方法と解説・制作実習
第8回	課題曲2 楽曲制作の方法と解説・制作実習
第9回	課題曲2 楽曲制作の方法と解説・制作実習
第10回	課題曲2 楽曲制作の方法と解説・制作実習
第11回	課題曲2 楽曲制作の方法と解説・制作実習
第12回	課題曲2 楽曲制作の方法と解説・制作実習
第13回	課題曲2 楽曲制作の方法と解説・制作実習
第14回	課題曲2 楽曲制作の方法と解説・制作実習
第15回	前期のまとめ

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース											
アドバンスレッスン2											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	杉本 清隆・松川かの子			実務経験	有	職種	ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター				
授業概要											
バンドアンサンブルによる課題曲演奏を通じ、幅広いジャンルに素早く対応できるスキルを身につける。											
到達目標											
幅広いジャンルの課題曲の演奏アプローチを学習することによって、バンドアンサンブルをより良くするためのインプロヴィゼーションスキルを体得する。自分本位な演奏では無く、いかに周りの音を聴きながら演奏し、最良のアンサンブルに仕上げるか、そのためのコミュニケーション能力も体得する。											
授業方法											
楽曲毎に講師によるデモ演奏を交え、動画や本、音源では体感が困難である立体的な音像を確認のうえ、授業を進めていく。バンド演奏の中で各楽器の最良の音色作り、奏法の体得に加え、即興によるバックイング演奏、フレーズ演奏に挑戦し、柔軟かつオリジナルな演奏者を目指すための考察を深める。ヴォーカリストコースとのコラボレーションも適宜実施する。課題曲の学習順番は、演奏法習得状況に応じて弾力的に変更する。											
成績評価方法											
1 4回目または1 5回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適宜、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	「Habit」 (セカオワ) の基礎的な演奏 (リズム、ピッチに留意する)										
第2回	「Habit」 (セカオワ) のアドリブを交えた演奏 (アドリブソロ、リズムパターンと構成のヴァリエーション)										
第3回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションを行う。										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース	
アドバンスレッスン2	
第4回	「Chicken」 (Jaco他) の基礎的な演奏 (リズム、ピッチに留意する)
第5回	「Chicken」 (Jaco他) のアドリブを交えた演奏 (アドリブソロ、リズムパターンと構成のヴァリエーション)
第6回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションを行う。
第7回	「リルラ リルハ」 (木村カエラ) の基礎的な演奏 (リズム、ピッチに留意する)
第8回	「リルラ リルハ」 (木村カエラ) のアドリブを交えた演奏 (アドリブソロ、リズムパターンと構成のヴァリエーション)
第9回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションを行う。
第10回	「Cantaloupe Island」 (ハービーハンコック他) の基礎的な演奏 (リズム、ピッチに留意する)
第11回	「Cantaloupe Island」 (ハービーハンコック他) のアドリブを交えた演奏 (アドリブソロ、リズムパターンと構成のヴァリエーション)
第12回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションを行う。
第13回	「Loser」 (米津玄師) の基礎的な演奏 (リズム、ピッチに留意する)
第14回	「Loser」 (米津玄師) のアドリブを交えた演奏 (アドリブソロ、リズムパターンと構成のヴァリエーション)
第15回	後期のまとめ、課題曲演奏による授業内実技試験、フィードバック。

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース											
アドバンスレッスン2											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	永田範正・松川かの子・郁川舞			実務経験	有	職種	ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター				
授業概要											
バンドアンサンブルによる課題曲演奏を通じ、幅広いジャンルに素早く対応できるスキルを身につける。											
到達目標											
幅広いジャンルの課題曲の演奏アプローチを学習することによって、バンドアンサンブルをより良くするためのインプロヴィゼーションスキルを体得する。自分本位な演奏では無く、いかに周りの音を聴きながら演奏し、最良のアンサンブルに仕上げるか、そのためのコミュニケーション能力も体得する。											
授業方法											
楽曲毎に講師によるデモ演奏を交え、動画や本、音源では体感が困難である立体的な音像を確認のうえ、授業を進めていく。バンド演奏の中で各楽器の最良の音色作り、奏法の体得に加え、即興によるバックイング演奏、フレーズ演奏に挑戦し、柔軟かつオリジナルな演奏者を目指すための考察を深める。ヴォーカリストコースとのコラボレーションも適宜実施する。課題曲の学習順番は、演奏法習得状況に応じて弾力的に変更する。											
成績評価方法											
1 4回目または1 5回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適宜、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	「Habit」(セカオワ)の基礎的な演奏(リズム、ピッチに留意する)										
第2回	「Habit」(セカオワ)のアドリブを交えた演奏(アドリブソロ、リズムパターンと構成のヴァリエーション)										
第3回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションを行う。										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース	
アドバンスレッスン2	
第4回	「Chicken」 (Jaco他) の基礎的な演奏 (リズム、ピッチに留意する)
第5回	「Chicken」 (Jaco他) のアドリブを交えた演奏 (アドリブソロ、リズムパターンと構成のヴァリエーション)
第6回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションを行う。
第7回	「リルラ リルハ」 (木村カエラ) の基礎的な演奏 (リズム、ピッチに留意する)
第8回	「リルラ リルハ」 (木村カエラ) のアドリブを交えた演奏 (アドリブソロ、リズムパターンと構成のヴァリエーション)
第9回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションを行う。
第10回	「Cantaloupe Island」 (ハービーハンコック他) の基礎的な演奏 (リズム、ピッチに留意する)
第11回	「Cantaloupe Island」 (ハービーハンコック他) のアドリブを交えた演奏 (アドリブソロ、リズムパターンと構成のヴァリエーション)
第12回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションを行う。
第13回	「Loser」 (米津玄師) の基礎的な演奏 (リズム、ピッチに留意する)
第14回	「Loser」 (米津玄師) のアドリブを交えた演奏 (アドリブソロ、リズムパターンと構成のヴァリエーション)
第15回	後期のまとめ、課題曲演奏による授業内実技試験、フィードバック。